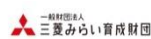




令和6年度 PDA 東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2025年1月11日（土）13:00-17:00



会場：東京都立富士高等学校附属中学校

参加者：11校、20チーム（千代田区立九段中等教育学校、東京都立桜修館中等教育学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、東京都立武蔵高等学校附属中学校、東京都立三鷹中等教育学校、東京都立南多摩中等教育学校、東京都立白鷗高等学校附属中学校、東京都立立川国際中等教育学校、東京都立富士高等学校附属中学校、東京都立両国高等学校附属中学校）

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、東京大学、東京外国語大学、北海道教育大学、大阪大学

東京都内11校の中高一貫校中学校が東京都立富士高等学校附属中学校に集い、「令和6年度東京都中高一貫校中学生即興型英語ディベート交流大会」が開幕しました。

開会式では、東京都立富士高等学校附属中学校統括校長の勝嶋憲子先生よりご挨拶いただきました。「令和5年以降、学校生活で『ウェルビーイング』の向上を図ることが重要になってきています。そのためには、声をかけ合うことで信頼関係を深めていくことが重要です。この点で、コミュニケーション力をはじめとする総合的な力を鍛える今日の機会はウェルビーイングの要素を含んでいると言えます。力を最大限発揮してください。」と激励のお言葉をいただきました。



勝嶋統括校長ご挨拶

次にPDAスタッフより過去の交流大会の様子や結果の紹介が行われました。参加校紹介では、各学校が息を揃えて「がんばります！」と意気込みを述べました。ルールの確認では、ディベートでお互いの議論を深めるために重要なPOI（Point of Information：ディベート中の質疑応答）を練習し、元気よくPOIのポーズを元気よく行いました。



学校紹介の様子



POI の練習

1 ラウンド目の論題は、“**Cashless payment should be mandatory. (キャッシュレス決済を義務化すべきである。)**”でした。現金によるトラブルが減る、経済効果が見込まれるなどのポジティブな面だけでなく、使い方がわからない人にとっては難しい、むしろトラブルが増えるといったリスクについても議論が交わされました。ディベートが終わると、お互いの論点について共有するだけでなく、普段の学校生活や留学経験について話し、交流を深めました。その後はジャッジより勝敗だけでなく個人フィードバックが伝えられ、次のディベートに向けて継続するとよいところと改善点について伝えられました。



桜修館 B VS 大泉 A スピーチの様子



白鷗 A VS 南多摩 スピーチの様子



立川国際 VS 九段 B ジェスチャーを活用!



富士 B VS 桜修館 A 時間いっぱいスピーチ



三鷹 VS 富士 A 交流時間の様子



九段 A VS 白鷗 B ディベート後の握手



小石川 A VS 武蔵 A ディベート後の握手



桜修館 B VS 大泉 A 画面越しに握手



武蔵 B VS 富士 C ディベート後の握手



大泉 B VS 小石川 B フィードバックに集中

続く 2 ラウンド目の論題は “**We should ban the use of smartphones in schools.** (学校でのスマートフォンの使用を禁止すべきだ。)” でした。自分たちにより身近な論題に、これまで見聞きしたことや実際に自分が体験したことなどを具体例として織り交ぜながらスピーチする場面が見られました。またディベート後はお互いの学校の校則について話す様子が見られました。ジャッジによるフィードバックでは、ディベートの内容や表現についてもコメントが伝えられました。



南多摩 VS 大泉 B アイコンタクトを意識



桜修館 A VS 武蔵 B 堂々とスピーチ



両国 A VS 富士 B アイコンタクトを意識



画面越しの握手 (白鷗 A・大泉 A)



白鷗 B VS 小石川 A ディベート後の握手



小石川 B VS 九段 B ディベート後の交流



武蔵 A VS 三鷹 みんなで POI !



両国 B VS 立川国際 フィードバック

次に、エキシビジョンディベートに選ばれたジャッジ評価の高い6名の生徒が発表されました。PDAスタッフがリズムを取ると、生徒たちも机を叩きながらその場を盛り上げます。スクリーンに選ばれた生徒の名前が映し出されると、歓声が沸き起こり、チームメイトは拍手を送ったり抱き合ったりして、選出の喜びを共有しました。

準備時には笹川平和財団スカラシップについての詳細な説明が行われました。交流時間に留学経験や今後の留学計画について語っていた生徒たちは、他校の生徒と交流する中で描いた自分たちの留学の夢が現実味を帯びることに期待を寄せながら、説明に熱心に耳を傾けていました。



笹川平和財団スカラシップの説明を真剣に聞いています



いよいよエキシビジョンディベートが始まりました。論題は“**High school students should aim to attend universities in English-speaking countries rather than universities in Japan.** (高校生は、日本の大学よりも英語圏の大学に進学することを目指すべきだ。)”でした。英語力だけでなく、多様な人とコミュニケーションをとる力が重要であると述べる肯定側に対し、否定側は英語よりも中国語学習に重点を置きたい生徒もいる、日本の大学でもいろいろなことが学べると説明しました。POIも飛び交い、接戦が繰り広げられましたが、メインジャッジの投票により、否定側の勝ちとなりました。



トップバッターとしてスピーチ（小石川）



積極的に P0I！（立川国際）



ジェスチャーを活用（武蔵）



白熱する質疑応答（三鷹・白鷗）



ディベートを締めくくります（南多摩）



教員ジャッジによるフィードバック

閉会式では、まず表彰式が行われ、1位と2位のチームにはトロフィーが授与されました。最後に都立富士高等学校附属中学校副校長の岩間潤先生より『交流』大会ということで、ディベート後に対戦チームと仲を深めている様子が印象的でした。ディベートの良いところは、相手の話をしっかり聞いた上で自分たちの意見を主張する点、そして相手を論破しようとするのではなく、お互いの主張がだんだん寄り添っていくという点にあります。未来の日本のリーダーとして議論のできるひとになってください。」とご講評をいただき、PDA 東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会が終了しました。



岩間副校長ご講評

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・PM	東京都立小石川中等教育学校	_____さん
・LO	東京都立武蔵高等学校附属中学校	_____さん
・MG	東京都立三鷹中等教育学校	_____さん
	東京都立大泉高等学校附属中学校	_____さん
・MO	東京都立白鷗高等学校附属中学校	_____さん
・LOR	東京都立立川国際中等教育学校	_____さん
・PMR	東京都立南多摩中等教育学校	_____さん



エキシビションディベータ賞

〈チーム賞〉

1位	東京都立三鷹中等教育学校
2位	東京都立大泉高等学校附属中学校 Aチーム
3位	東京都立武蔵高等学校附属中学校 Bチーム
4位	東京都立小石川中等教育学校 Bチーム
5位	東京都立武蔵高等学校附属中学校 Aチーム



1位 三鷹



2位 大泉 A



3位 武蔵 B



4位 小石川 B



5位 武蔵 A

〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- | | |
|-----------------|---------------|
| _____ (三鷹) ★ | _____ (大泉 B) |
| _____ (武蔵 B) ★ | _____ (大泉 A) |
| _____ (小石川 B) ★ | _____ (大泉 A) |
| _____ (富士 B) | _____ (小石川 A) |
| _____ (富士 A) | _____ (小石川 A) |
| _____ (立川国際) | _____ (桜修館 B) |
| _____ (白鷗 B) | _____ (桜修館 A) |
| _____ (白鷗 A) | _____ (桜修館 A) |
| _____ (白鷗 A) | _____ (九段 B) |
| _____ (南多摩) | _____ (九段 A) |
| _____ (武蔵 A) | |

〈ベスト POI 賞〉★は2回選ばれた生徒

- | | |
|----------------|---------------|
| _____ (富士 B) ★ | _____ (武蔵 B) |
| _____ (富士 A) ★ | _____ (大泉 B) |
| _____ (武蔵 A) ★ | _____ (小石川 A) |
| _____ (大泉 A) ★ | _____ (桜修館 B) |
| _____ (立川国際) | _____ (桜修館 B) |
| _____ (立川国際) | _____ (九段 B) |
| _____ (白鷗 B) | _____ (九段 A) |
| _____ (武蔵 B) | _____ (南多摩) |



ベストディベーター賞



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・相手側の意見に対しての反論を考えるのが面白かったです。（九段）
- ・学校の中でやるよりも学びを深めることができたため、これからも機会があったら参加したい。（九段）
- ・私は英語が得意ではなく、正直、今回のディベートで自分の実力不足と他の生徒さんとの差を思い知りました。しかし、ディベートの大会自体が初めての体験だったため、他校と意見を交わすこと自体に高揚感と楽しみを覚えめました。（九段）
- ・また参加したい！（桜修館）
- ・たくさんの人の話を聞いてもっと英語勉強したいって思いました。（桜修館）
- ・楽しかったです。またやりたい。（小石川）
- ・もっと英語を頑張ります！（小石川）
- ・他の学校との対戦で刺激を受けることができ、今後の英語学習やディベート練習につながる大会となり、とても楽しかったです。ありがとうございました。（大泉）
- ・一つの議題についてディベートするのが楽しいと思った。（大泉）
- ・みんなレベルが高くて圧倒された。自分も頑張ろうと思った。（武蔵）
- ・英語ディベートが上手い人がたくさんいて、すごく良い刺激になった。ここで得た学びを次に繋げたい。（武蔵）
- ・たくさんの学校の人たちと話せた。（三鷹）
- ・同じ学年の人がどのくらい英語ができるのかわかって勉強になった。（白鷗）
- ・普段と違うメンバーとディベートをするのが新鮮だった。自分もやった後にエキシビジョンディベートを見れたことで上手な人と比べて学べるが多かった。（白鷗）
- ・他校との交流をすることができ、自分の英語能力を駆使して言葉を交わすことができた。（立川国際）
- ・様々な人のスピーチを聞いて良い刺激になった。（両国）
- ・多くの学びを得られ、今後の英語学習での活動のモチベーションになった。（両国）
- ・別の学校の人と話ことができ、共感できることがあって面白かった。（両国）
- ・同じ中学生のすごいディベートを間近で見れた。（両国）